学校経営シラバスに基づく学校教育計画及び学校評価

令和３年（2021年）度　学校経営シラバス

北海道鵡川高等学校

め　ざ　す　学　校　像	め　ざ　す　生　徒　像
1　生徒のより良い自己実現を目指し、絶えず研鑽に励み、専門性を高め、質の高い教育活動の実践に努めるとともに、生徒が「行きたい」と思う学校づくりに努める 2　学校課題の解決を図るため、地域や専門機関等との連携を図りながら、積極的に教育活動の改善・充実に努める 3　学校経営参画意識の高揚を図り、組織体としての機能を高め、協働体制の確立に努める 4　連携型中高一貫教育等の充実を図り、地域から信頼され、「生かしたい」と思われる学校づくりに努める 5　地域や保護者等との連携・協調に努め、教育環境の整備に努めるとともに、保護者が「行かせたい」と思う学校づくりに努める 6　学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」を推進し、その具現化を図る	【学校教育目標】 一人ひとりの個性を伸ばし、明るく豊かでたくましい人間を育成する 【育成したい生徒像】 〇グローバル化する社会の一員としての基礎的な資質・能力を身に付け、地域社会に貢献できる人間の育成 〇自己の特性や能力を最大限に伸長させ、主体的にたくましく生き抜くことができる人間の育成 【育成を目指す資質・能力】（別紙１） ＜生きてはたらく知識・技能＞ 〇基礎的な知識・技能　〇情報活用力 ＜思考力・判断力・表現力＞ 〇コミュニケーション力　〇課題設定・解決力　〇批判的思考力 ＜学びに向かう力・人間性＞ 〇自己理解・成長力　〇他者とチームで活動する力 〇組織に求められる人間性

＜令和３年度重点目標＞

・学校運営の組織化　個業からチームへ

・学校における過去の慣習や固定観念にとらわれず、育成を目指す資質・能力の育成を目指した教育活動の推進

・WDOを踏まえ生徒が「自走」し始める教育活動の推進
・あらゆる教育活動及び校務に係るオンライン化の推進
・大学進学意識の高揚
・「むかわ学」「チャレンジスタディ」「デュアルシステム」の更なる充実
・地域みらい留学365の効果的活用
・新設となる公営塾及び、スタッフ（コーディネーター）との効果的協働

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	担当分掌等
	学習指導	◎ICTの活用を踏まえた基礎学力の定着と学力の向上	〇「主体的・対話的で深い学び」の実践	□生徒による授業評価の実施・分析を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」に係るｱｸﾃｨﾌﾞ･ﾗｰﾆﾝｸﾞの視点からの授業改善 □WDO（why? Discussion Output）を踏まえ、「授業改善の観点」（別紙２）（別紙A）に基づいた教育活動の実践 □説明責任に応えうる教科シラバスに基づいた授業進度の管理・達成度の測定及び、本校で育成を目指す資質・能力に沿ったキールーブリックに沿った観点別評価の検討	・教務部 ・企画総務部 ・各教科 ・むかわ学ＷＧ ・チャレスタＷＧ

教育活動	学習指導		○社会に開かれた教育課程の充実	□地域をキャンパスとした探究的な学び「むかわ学」及び、地域をキャンパスとし生徒の特性や能力を伸張させる「ﾁｬﾚﾝｼﾞｽﾀﾃﾞｨ」の効果的な実施	・むかわ学ＷＧ ・チャレスタＷＧ
			○個別最適化された学びを支えるICTの有効活用	□個別最適化された学びの実践を支える授業におけるICTの積極的な活用	・情報システム委員会 ・全教科 ・チャレスタWG ・むかわ学WG
		◎適切な教育課程の編成	○新学習指導要領及び教員の負担均等化を踏まえた教育課程の充実	□令和４年度以降の新学習指導要領及び教員の負担均等化を踏まえた教育課程の検討と充実	・教務部 ・各教科 ・教育課程検討委員会
	生徒指導	◎社会性と自律性、主体性を培い、社会で生きるための基礎的な力の育成	○社会性と自律性、主体性の向上を図るための支援の充実	□導入期指導の確実な実施及び、TPOに応じたマナーや、公共の場でのふるまいの自覚と実践	・1学年 ・生徒指導部
				□WDO（why? Discussion Output）を踏まえ、生徒の主体性を育成する生徒支援の実践及び、ICTの積極的な活用	・生徒指導部 ・生徒会 ・情報システム委員会
				□本校生徒の実態に即したCSTの検証と実践	・生徒指導部 ・生徒サポート委員会
			○いじめ撲滅へ向けた取組の徹底	□生徒自身のアイデアと実践によるいじめ撲滅の取組及び、いじめの早期発見・早期対応による解決	・生徒指導部 ・いじめ防止対策委員会 ・各学年
			○働き方改革を踏まえた部活動や生徒会活動等の課外活動の一層の充実	□働き方改革を踏まえ、前例にとらわれない地域と連携した課外活動（部活動・生徒会活動等）の効果的な実施	・生徒指導部 ・生徒会担当 ・各部、局、同好会
	進路指導	◎自己実現を図るために自己を伸長させる力の育成	○キャリア教育の視点を踏まえた進路支援計画の改善、充実	□本校で育成を目指す資質・能力に基づく進路シラバスの検証及び改善	・進路指導部 ・チャレスタＷＧ ・各学年
			○生徒の進路探究の深化及び、希望を確実に実現させるための進路学習等の一層の充実	□生徒及び保護者の大学進学に係る意識の啓蒙の充実（別紙３）及び進路意識の高揚を図るための効果的な情報提供や進路学習の実施	・進路指導部 ・各学年
				□生徒の希望進路や興味関心に基づいた「チャレンジスタディ」における個別最適化された学びの充実 □キャリア支援におけるICTの積極的な活用及び、公営塾・学習スタッフ等と協力した個別最適化された学びの充実	・進路指導部 ・情報システム委員会 ・チャレスタＷＧ ・各学年 ・コーディネーター
			○地域等との連携によるキャリア教育の一層の充実	□地域の企業等と連携した「デュアルシステム」やインターンシップの充実	・進路指導部 ・チャレスタＷＧ ・1.2学年 ・コーディネーター
	健康・安全　指導	◎心身の健康増進及び学校安全、環境美化意識の醸成	○多様化する生徒への理解の深化と教育相談体制の充実	□SC等専門家との連携のもと、個に応じた教育相談体制の充実及び、健康・安全指導におけるICTの積極的な活用	・生徒指導部 ・生徒サポート委員会 ・各学年 ・情報システム委員会
			○個別の支援が必要な生徒に対する柔軟な対応の推進	□個別の支援が必要な生徒の具体的な支援計画・指導計画の作成及び全校体制での支援の徹底	・生徒指導部 ・生徒サポート委員会 ・各学年
			○健康管理及び学校安全の徹底と災害等に対する適切な対応	□避難訓練や、各種講演会等の啓蒙活動等を通した危機管理意識や健康管理に対する意識を高める取組の実施	・生徒指導部 ・防災委員会 ・各学年

			○美化意識の高揚	□生徒による主体的な校舎内外の美化活動の実施	・生徒指導部 ・生徒会担当（保健） ・各学年
	中高一貫教育	◎町教委や中学校との連携による地域社会で貢献できる力の育成	○中高一貫教育の基本理念を踏まえた各種取組の検証と推進	□本校で育成を目指す資質・能力を踏まえたキャリア教育や奉仕活動の取組内容及び、中高の生徒間・教員間の交流の充実	・校内推進委員会 ・全職員 ・企画総務部 ・管理職
				□（小）中高を通して育成したい生徒像を踏まえた「むかわスタンダード」の作成及び取組の実施	・校内推進委員会 ・企画総務部 ・各教科(国数英) ・むかわ学WG ・管理職
				□中高一貫教育におけるICTの積極的な活用	・校内推進委員会 ・企画総務部 ・情報システム委員会
学校運営	信頼される学校づくり	◎地域が「生かしたい」、保護者が「行かせたい」、生徒が「行きたい」と思う学校づくり	○社会に開かれた教育課程の確立及び、「チーム学校」としての教育活動の充実	□本校で育成を目指す資質・能力を踏まえ、コンソーシアムを活用した地域に開かれた教育活動の充実	・企画総務部 ・各教科 ・むかわ学WG ・チャレスタWG ・コーディネーター
				□公営塾の活用及び、公営塾スタッフを含めたコーディネーターとの協働体制の確立	・企画総務部 ・コーディネーター ・進路指導部 ・チャレスタWG ・各学年
				□地域みらい留学365の効果的活用	・企画総務部 ・コーディネーター ・各学年 ・生徒会 ・新聞局
			○地域や保護者への教育成果の周知及び普及	□地域住民や保護者等に対する学校公開の実施や、各種報道機関、ＨＰや学校だより、学校説明会、ＳＮＳ等を活用した積極的な教育活動に係る情報提供発信の充実	・企画総務部 ・情報システム委員会 ・学年担任 ・新聞局
	組織運営	◎学校課題の共有及び課題解決に向け　た協働体制の充実	○学校課題の明確化及び課題を解決するための取組の確実な遂行	□中間反省や年度末反省、学校評価等を踏まえた学校課題の明確化及び、具体的な改善方策の策定（カリキュラムマネジメントによる教育活動の評価・改善）と確実な改善	・企画総務部 ・各分掌部長 ・各学年主任 ・ＷＧリーダー ・管理職
				□学校経営参画意識の高揚を踏まえ、複数担任制や家庭との各種連絡等を含めた校務全般のオンライン化等に基づく円滑で組織的な業務遂行	・企画総務部 ・情報システム委員会 ・学年担任 ・管理職
			○組織的、機能的な協働体制の充実	□「むかわ学」や「チャレンジスタディ」に係るﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟを中心とした全教職員による取組の推進	・むかわ学ＷＧ ・チャレスタＷＧ ・コーディネーター
	教職員の資質向上	◎生徒の実態を踏まえた教職員の指導力等の向上	○効果的な研修の推進	□教職員の指導力等の向上や学校課題の解決を図るための効果的な研修会の実施及び、ライフステージに応じオンラインを含めた校外研修等への積極的な参加の奨励	・各分掌部長 ・管理職 ・企画総務部
				□教職員の資質能力の向上を図るための人事評価シートを活用した個別面談等の効果的な実施	・管理職
				□日常からの効果的な情報提供等を通した公務員としての服務規律の厳守にかかる意識の高揚	・管理職

				□教職員自ら生徒に示す積極的なチャレンジ姿勢の創出	・全職員
	働き方改革	◎健康でやりがいを持って勤務する合理的・機能的な労働環境づくり	○「北海道アクション・プラン」第2期の推進	□公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月45時間内、年360時間内」とする）の順守	・全職員 ・衛生委員会 ・学校保健委員会
				□過去の慣習にとらわれず、本校で育成を目指す資質・能力を重視した教育活動の実施及び、教育活動の再構成	・各教科 ・各分掌 ・各学年 ・WG
				□教師・生徒双方において自己を高めるための学校外の時間の確保	・全職員 ・衛生委員会 ・学校保健委員会 ・各部、局、同好会顧問